

2025年10月03日作成 Ver.1.3

《情報公開文書》

JIPAD データベースを用いた集中治療を要するアナフィラキシーショック患者の臨床的特徴と治療転帰に関する検討

研究の概要

【背景】

アナフィラキシーは、薬剤や食物などのアレルギー物質に触れることで起こる全身性の重篤なアレルギー反応です。特に血圧が下がって意識を失うアナフィラキシーショックは生命に関わる状態で、集中治療室（ICU）での治療が必要になることがあります。近年、このような重篤なアレルギー反応で亡くなる方が報告されており、ICUでの適切な治療方法を明らかにすることが重要な課題となっています。

【目的】

ICUに入室したアナフィラキシーショックの患者さんの病気の特徴、治療内容、回復に影響する要因を明らかにすることを目的としています。

【意義】

この研究により、アナフィラキシーショックの患者さんに対する最適な治療方法を見つけ出し、将来同じような状況になった患者さんの治療成績向上に役立てることができます。

【方法】

日本集中治療医学会が管理する JIPAD（日本 ICU 患者データベース）という全国の ICU の情報を集めたデータベースを使用します。2015年4月から2023年3月までの間にアナフィラキシーで ICU に入室された患者さんのデータを分析します。

対象となる患者さん

2015年4月1日から2023年3月31日の期間中に、日本集中治療医学会 JIPAD データベースに参加している全国の病院の ICU に、アナフィラキシーが原因で緊急入室された患者さんが対象となります。年齢制限はありません。

研究に用いる情報

本研究では、日本集中治療医学会 JIPAD データベースに既に個人が特定できない形で登録されている以下の情報を使用します。

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・患者さんの基本情報（年齢、性別、身長、体重、これまでの病気、入院日、退院日など）
- ・ICU 入室時の状況（入室の理由、緊急度、意識状態など）
- ・病気の重症度を表すスコア（APACHE II、SOFA スコアなど）
- ・治療中の体の状態（血圧、脈拍、体温、血液検査の結果など）

- 受けた治療内容（血圧を上げる薬の使用、人工呼吸器の使用、透析治療など）
- 治療経過（ICU にいた期間、入院期間、回復状況など）
- 病院の情報（病床数、医療スタッフの人数など）

重要なお知らせ

本研究で使用するデータは、既に個人を特定できない状態で匿名化された JIPAD からの情報です。そのため、個別の患者さんを特定することはできず、研究対象から除外するオプトアウトの対応はできません。

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は研究機関長の許可日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

既に個人を特定できない状態で匿名化された JIPAD データベースの情報を使用するため、個別の患者さんを対象から除外することはできません。この点についてあらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2028 年 3 月 31 日

研究実施体制

研究責任者

所属：長崎大学病院 麻酔集中治療医学
氏名：中島 誉也
住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1
電話：095 (819) 7370

情報の管理責任者

長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容について】

所属：長崎大学病院 麻酔集中治療医学
氏名：中島 誉也
住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1
電話：095 (819) 7370

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）